

秋の設計セミナー

今、「地方」だから建築でやれることがある。

オンライン方式 11月10日(水) 9:30~17:30

主催／一般社団法人 町の工務店ネット 協賛／手の物語有限会社

今の工務店は、流行や市場に影響され過ぎていないか？街のつくりもそんなふうで、広い道路・ショッピングモール・夜中まで煌々と照らすコンビニ・狭い敷地いっぱいに建てられた「酸素欠乏住宅」が地方に押し寄せ、工務店はそれを「進化」や「発展」と見ています。考えてみたら、目下、深刻さを増しているヒートアイランド化もコロナ禍も、みんな大都市の「密の巣」に由来しているではありませんか。工務店は、それぞれの地方が持つところのよさ＝「独自の種」をつかみ直すことです。行き詰まりを見せる大都市が振り向き、「本当に欲していたのはこれだったんだ！」と真似したくなる、そんな気づきをつくり出しましょう。…工務店は「明日の市場」に目を向けよう。

枝廣淳子(環境ジャーナリスト) 素敵なシンポジウムですね！地方の時代、本当にそう思います(ので私も移住しました)。素敵な場になりますように！

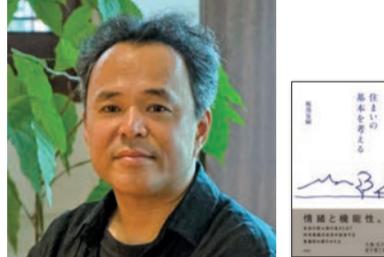
プログラム1 | 9:30~12:30 ◎パネルディスカッション／建築でやれる余地はまだ残されていると考える“粘っている知恵者”が集って、侃侃諤諤“実になる議論”を交わします。

パネラー・泉 幸甫 (いずみ こうすけ)



建築家。泉幸甫建築研究所代表。日本大学客員教授。ぼくが目白でやった「Apartment島(じゅん)」のような事例は、これから地方でこそ可能性がある。このようないい仕事をやりませんか。きっと楽しいはず！

パネラー・堀部 安嗣 (ほりべ やすし)



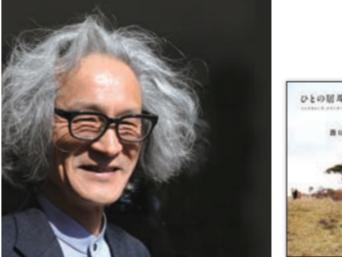
建築家。堀部安嗣建築設計事務所代表。京都芸術大学教授。建築は“市場”という大きな機械の歴史の一部となり身動きがとれなくなっています。地方には“自然”に向き合い、拓ける可能性が残されています。

パネラー・宿谷 昌則 (しゆくや まさのり)



建築環境学者。東京都市大学名誉教授。LEXS研究会代表。「省エネ」「快適」とは何か？生物学・熱力学を踏まえた建築環境学は、自然に内在する恒常性維持のメカニズムを明らかにしてきました。基本に帰れと思います。

パネラー・田瀬 理夫 (たせ みちお)



ランドスケープ・デザイナー。プランタゴ代表。アクロス福岡、ゆりが丘ヴィレッジなど、ひとの居場所をつくるデザインには、日常性と社会性と地域性の3つが崩っていないとダメだと思う。信条は「地方は与論の本なり」です。

パネラー・高田 宏臣 (たかだ ひろおみ)



高田造園設計事務所代表。地球守代表理事。造園・土木の伝統智に眠る水と空気の健全な循環は、いまこそ必要な視点です。誰もが参加でき、希望を持てる環境改善と再生の現場をご一緒しましょう。

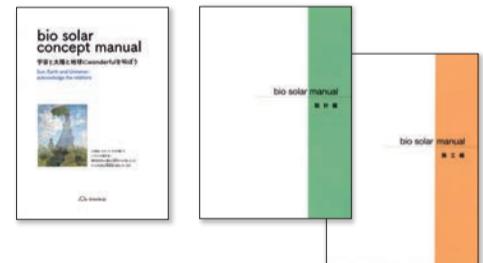
ファシリテーター・西村 佳哲 (にしむら よしあき)



リビングワールド代表。プランニング・ディレクター。「ひとの居場所をつくる」著者。田瀬さんと山あいの町で、集合住宅を開発しました。都市にも地方にも、それぞの不自由と自由があるな、と思います。

プログラム2 | 13:15~17:30

講座／脱炭素社会に向けた省エネ対策の「あり方検討会」による適合義務化に関し、中長期目標として太陽光抜き「ZEH」で行くことになりました。不十分な案だとする一方、光発電の義務化が避けられたのを歓迎する声もあります。真に求めたいのは、建築によって何をどこまでやれるかであり、今の熱貫流率で計算するやり方に固執するのではなく、ホドのいい室内気候を実現するため、周壁からの放射熱にこだわる技術。建築家・奥村昭雄によって考案され、50年近い建築実践の中で鍛えられたパッシブシステムが、ここに一つの結実を見ました。注目の「びおソーラー」を取り上げ、システムと技術の内容を解明かします。



「びおソーラー」のマニュアル編(全225p)をwebサイトにて公開(biosolar.jp/data/)。印刷物を欲しい方は、頒布しております。



講師・秋山 東一
建築家・フォルクスハウスの生みの親。「秋山設計道場」を開き、設計者の育成に尽くす。



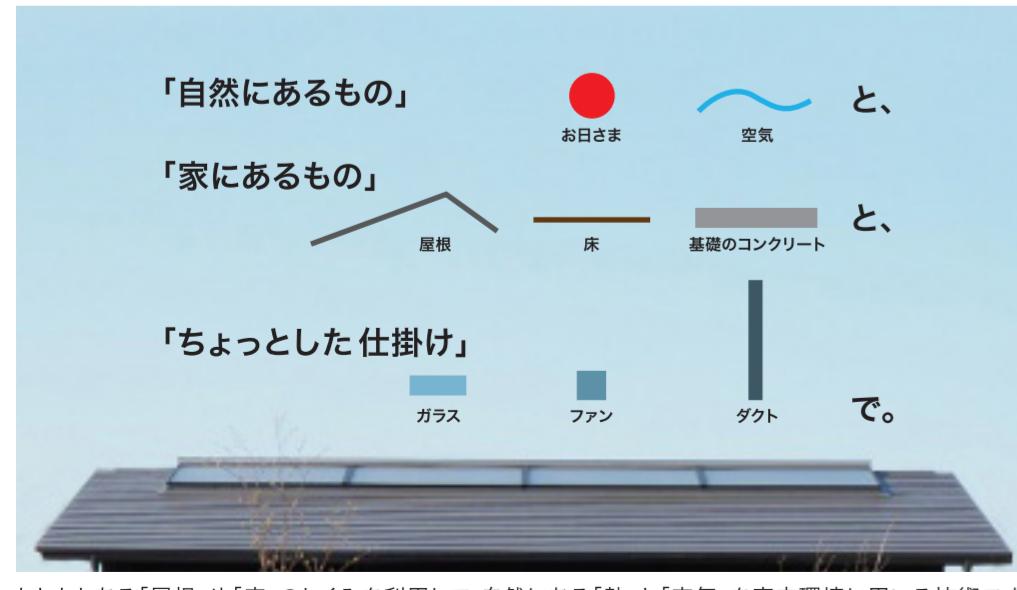
講師・小池 一三
奔走家・町の工務店ネット代表。パッシブソーラーと「近くの山の木で家をつくる運動」を進める。



講師・松原 美樹
シンプルで、永く使って、太陽と会話しながら暮らしていく「空気集熱式ソーラー」を愛してやまない。



ファシリテーター・佐塙 嘉則
町の工務店ネットの運営に長く携わり、インベーションを生み出す工務店のお産婆さんを自認する。



もともとある「屋根」や「床」のしくみを利用して、自然にある「熱」と「空気」を室内環境に用いる技術です。

「自然にあるもの」

「家にあるもの」

「ちょっとした仕掛け」

お日さま

空気

と、

基礎のコンクリート

と、

ガラス

ファン

ダクト

で。

- びおソーラーのシステム・コンセプト
- ① いたずらに流行を追わない。“不变不易”をベースとする。
 - ② ブラックボックスのない技術と利用システム。
 - ③ 余分なものは削ぎ、用いる部品は必要十分でいい。
 - ④ メンテナンス部品は“商品品”を用い、自分で直せること。
 - ⑤ 新築だけでなく、既存住宅にも使えるシステムへ。
 - ⑥ 自由に、オープンに、だれでも利用できるシステムへ。
 - ⑦ 経済性が高く、手頃な価格でやれるシステムであること。

募集要項

【参加費】 1,000円／人(税込)

【お申し込み】

- 右記QRコードより、お申し込みください。
- 町の工務店ネットのWEBサイトからも、お申し込みいただけます。

<https://machi-no-komuten.net/>

◀お問合せ▶

一般社団法人 町の工務店ネット

〒432-8044 静岡県浜松市中区南浅田2丁目2-1
TEL.053-570-9001 FAX.053-570-9007
info@machi-no-komuten.net

[町の工務店ネット](#) 検索

◀TOPICS▶

初心者は「寺子屋」で手練を身につけよう。

片山和俊(東京藝術大学名誉教授)と松澤 稔(多摩美術大学教授)のお2人を講師とする初心者のための「住宅を学びエスキス(手練)を身につけるための「寺子屋」を開きます。ユーザーに対する、最初のプランを手書きで描いて、打ち合わせの場でスラスラと図を描けると、見えてくる世界が違います。「寺子屋」はオンラインで全6回開きます。オンラインなので、いながらにして学べますので、交通費や宿泊費が不要。「寺子屋」のために独得の「方眼紙」を作りました。配布します。

*お問い合わせは、「手の物語」まで。

詳しくは、右記QRコードよりご覧ください。

◀A²プロジェクト▶、いよいよ佳境へ。

戦後50年を記念して選ばれた『ニッポン●プロダクト』で住宅分野で唯一選ばれたフルクスハウス(工務店によるスタンダードハウス)。これまでに3,000戸建てられています。の設計者、秋山東一と、ゆりが丘ヴィレッジ(神奈川)で「JIA25年賞」に輝く田瀬理夫の2人を講師に、全20回の設計道場をオンラインで開講中(右下の住宅計画は、この道場から生まれた作図)。9月で1クールを修了、いよいよ現物に取り掛かります。これは見逃せないと、途中から参加する工務店もあります。

*お問い合わせは、「町の工務店ネット」まで。

詳しくは、右記QRコードよりご覧ください。

設計「寺子屋」(全6回)の担当講師

第1回	2021年 9月 講師:松澤 稔
第2回	10月 講師:片山和俊
第3回	11月 講師:松澤 稔
第4回	12月 講師:片山和俊
第5回	2022年 1月 講師:松澤 稔
第6回	2月 講師:松澤 稔

片山和俊	設計「寺子屋」(全6回)の担当講師
	第1回 2021年 9月 講師:松澤 稔
	第2回 10月 講師:片山和俊
	第3回 11月 講師:松澤 稔
	第4回 12月 講師:片山和俊
	第5回 2022年 1月 講師:松澤 稔
	第6回 2月 講師:松澤 稔

A²
project

設計道場の課題設定(全20回)

1クール目までの内容
第1回 浜松郊外の土地計画
第2回 浜松郊外の土地計画
第3回 大阪堺の土地と住宅計画
第4回 兵庫明石の土地と住宅計画
第5回 栃木那須の土地と住宅計画

「町の工務店ネット」本部スタッフ、「手の物語」設計・技術スタッフ(建築経験のある方歓迎)正社員募集。
勤務先／静岡県浜松市。条件等は委細面談。

●応募・お問い合わせ／TEL.053-570-9012 info@tenomonogatari.jp(担当・佐塙)

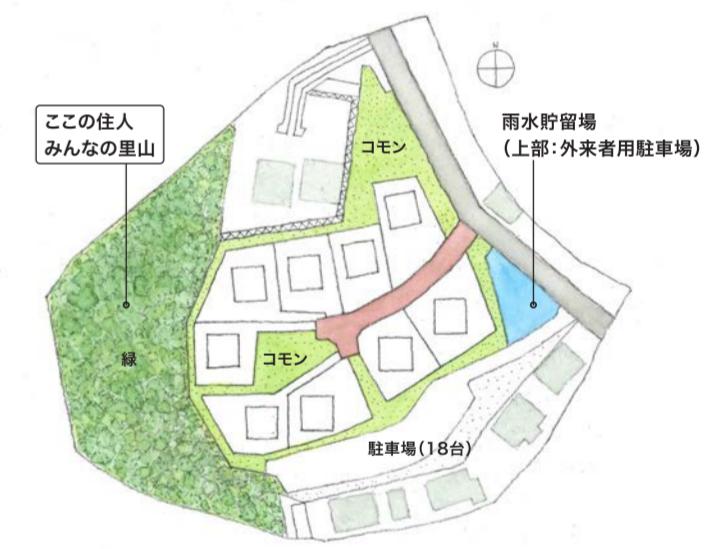
各地の取り組みを、少しだけご紹介します。



徳島県神山町の集合住宅(町営住宅)地の横を流れる清流・鮎喰川で、水遊びを見ている児童たち。こんな光景が、まだ地方にはあるんですね。(8/25撮影)

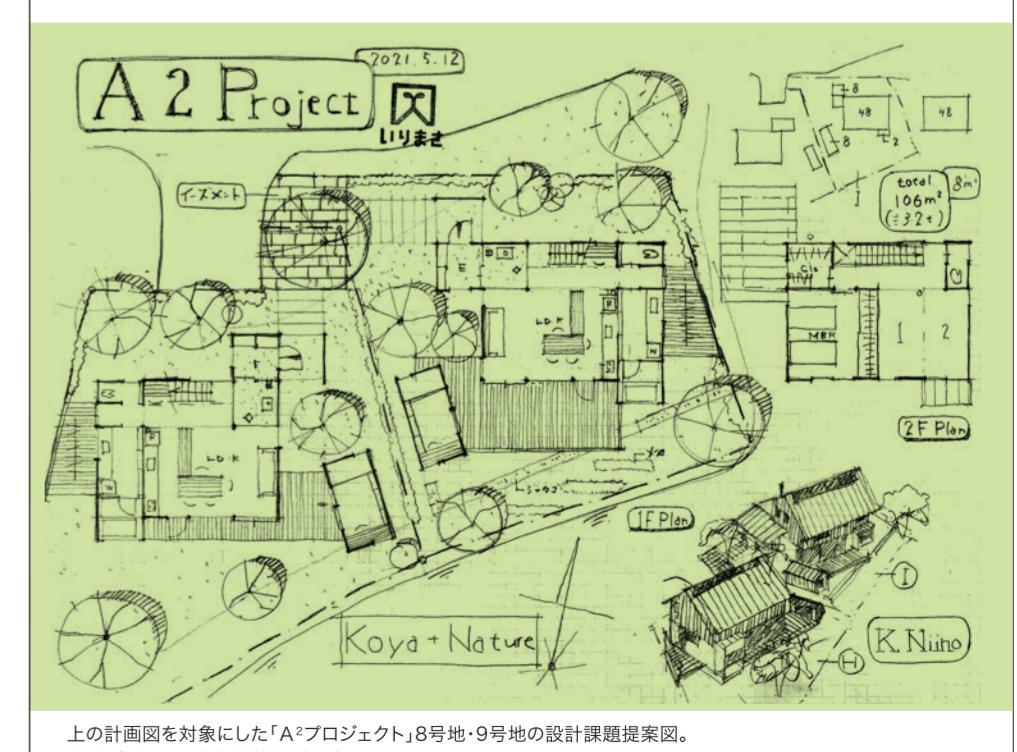


左／計画地内の道と「みんなの家」。右／通り道(小径)。設計：『神山町のあす環境デザイン共同企業体』



静岡県で9社の工務店が取り組む「里山のある町角」案件。左側の山は里山。歩く道(遊ぶる道)と、駐車場に入る道が分けられている。

また、ぐるっと回れる小径が配されていて、2つのコモン(共有の広場)がある。樹木と下草がゆたか。



上の計画図を対象にした「A²プロジェクト」8号地・9号地の設計課題提案図。

設計／浜松・入政建築(新野恵一)